

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム  
「企業版ふるさと納税分科会」(第8回)  
『企業と地方公共団体のマッチング会』  
地方公共団体発表資料(事業別)

Aブロック 環境保全、被災地支援		Bブロック 子育て支援、人材育成、 移住・定住促進支援		Cブロック 文化・芸術・スポーツ支援、 原材料産地支援	
1,	山形県 村山市	6,	北海道 南幌町	16,	岩手県 陸前高田市
2,	長野県	7,	北海道 増毛町	17,	東京都 町田市
3,	滋賀県 東近江市	8,	北海道 猿払村	18,	新潟県 村上市
4,	兵庫県 神戸市	9,	群馬県 下仁田町	19,	富山県 南砺市
5,	熊本県 高森町	10,	長野県 飯田市	20,	長野県 東御市
		11,	三重県	21,	京都府 京都市
		12,	兵庫県 姫路市	22,	奈良県 曽爾村
		13,	岡山県 赤磐市		
		14,	熊本県 八代市		
		15,	熊本県 天草市		

# Aブロック

## 環境保全、被災地支援

1,	山形県 村山市
2,	長野県
3,	滋賀県 東近江市
4,	兵庫県 神戸市
5,	熊本県 高森町

## 背景

- ・山形県村山市は、居合道の始祖 林崎甚助重信公の故郷
- ・日本で唯一の居合神社 ・小学校には、日本でも珍しい居合クラブ



## これまでの取組



- ・誰でも体験できる「居合道体験プログラム」
- ・林崎甚助重信公を主人公とした小説
- ・人気漫画家によるキャラクターデザイン



## 現状の課題

体験プログラム参加者が増加するものの…  
道路が狭く、奥まった場所にあるため、  
知らない人が多すぎる



## 事業の目的

周辺環境を整備し、居合道ファンからも  
地元の方からも愛される場所に！  
居合道発祥の地としてふさわしい場所にしたい！

## 背景

- ・山形県村山市では、「じゅんさい沼」で江戸時代から収穫
- ・高級料亭でも使用される品質の良い天然ジュンサイ
- ・寒天状のヌルが多く、食感が良いと評判 ・希少な生物や植物も生育



## これまでの取組



- ・誰でも収穫できる「じゅんさい収穫チケット」を販売
- ・高齢化による採り手の減少をカバーし、収穫量アップ
- ・箱舟での収穫作業が、おもしろい体験だと人気に

## 現状の課題

収穫希望者や購入希望者が増加するものの…  
天然ジュンサイの収量はピーク時の1/10  
生育量の減少で収穫可能な期間も短縮

## 事業の目的

沼や周辺環境、収穫体制等を整備し、もっと  
天然ジュンサイが収穫できるようにしたい!  
天然ジュンサイを市の特産品の目玉にしたい!



# 長野県・自然公園グレードアップ構想



## 背景

長野県は、3,000m峰15座を有する山岳県です。変化に富んだ自然環境は14の自然公園に指定され、生物多様性の保全にも貢献しています。

## 現状の課題

山岳環境は極めて厳しい気象条件、地形条件のため、登山道の施設整備や維持管理、ライチョウの保護活動など生物多様性の保全には、多額の資金が必要になります。

## 事業の目的

県外企業様とのパートナーシップによる山岳環境の保全、利用環境の向上

13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう

寄附活用事業PRポスターの作成→

## これまでの取組

寄附を活用した登山道の整備  
寄附活用先の見える化  
ライチョウ保護スクラムプロジェクト

寄附者名称の表示→



ライチョウ保護スクラムプロジェクト

ライチョウを絶滅から守る

みんなの力で、できること

目標金額 274万円



いつまでもこの道と共に。

mont-bell

# 長野県・自然公園グレードアップ構想

## 事業内容

- 寄附金を活用した山岳環境保全事業
  - ・市町村や山小屋関係団体が行う登山道整備の支援
- ライチョウ保護スクラムプロジェクト
  - ・ライチョウのヒナを守る「ケージ保護」を実施できる技術者の養成



## 得られる成果等

成果・目標

**山岳環境の  
持続的な保全**

企業に求めるもの等

**山岳環境の保全に対する  
継続的な応援をお願いします**



寄附企業の  
社会貢献をPR

いつまでも  
この道と共に。

寄附活用事業PRポスターの作成→

AEON 社会貢献活動  
寄附活用事業PRポスターの作成→

## その他長野県の重点寄附募集分野

- ①気候変動対策・環境保全
- ②災害・コロナ対応
- ③人材育成
- ④ブランド振興

# 滋賀県 東近江市 里山をいかした子育て環境づくり、人づくり事業

## 背景

- ・ 東近江市は、日本の1,000分の1モデル
- ・ 総合戦略には「戦略を実現するためのストーリー」がある
- ・ そのひとつ「**自然を最大限いかした子育て環境づくり**」を！



## 事業の目的

- ・ 自然体験活動を通じて、**自ら考え、行動する子どもを育成**
- ・ 自然環境をいかした**保育の担い手の確保**
- ・ **子どもが地域に愛着を持つ**ことにより、人口流出を抑制
- ・ **子育て世代の定着や移入を促進**



## これまでの取組

- ・ **園の身近な自然**に園児と出かけ、**自然の楽しさを伝えながら子どもを育成するスキル**を有する市職員が、本市独自の「**里山保育**」を実施（H27年度～）
- ・ **どの園でも実施できる**ことがメリット
- ・ 市内全27園、5歳児約1,000人がいる中、**2割の園児**まで拡大

## 現状の課題

- ・ スキルを有する職員が少なく、**さらなる拡大が困難**
- ・ **里山保育は、子どもや市にとって重要**と考えてくれる市民が、自然環境をいかした子どもの育成に**関わりたい**と思っているが、**スキルがない**

# 滋賀県 東近江市 里山をいかした子育て環境づくり、人づくり事業

## 事業内容

- ・ 思いを持つ市民が「東近江さとやまNannies」結成済
- ・ 同団体にスキルを伝え、指導者育成の仕組みを構築
- ・ 今年度より、スキルの受け渡しをスタートしたが、軌道にのせていくことが肝要
- ・ **本事業により、里山保育の情報発信を強化**
- ・ **仕組みを継続的なものとし、団体の活動を支援**



## 成果・目標

- ・ R3年度3割、R6年度5割、R10年度10割の園児に里山保育を実施
- ・ 指導者を最低18人育成
- ・ 同団体が、自然環境をいかした収益事業を実施
- ・ 子どもが動くと地域も動く。里山保育を通じて人と自然との関わりを取り戻す

## 企業様に求めるもの

- ・ 本市の里山保育の発信
- ・ 市民団体育成のための支援

## 企業様のメリット

- ・ 市民や行政との直接的つながり
- ・ 社員様やご家族の自然体験
- ・ すでに動き始めている事業のため、実現性が高い

## 得られる成果等

近江鉄道活用促進事業や木地師・ガリ版の磨き上げ事業など、応援いただきたい取組が多数あります



# 神戸市・人と自然が奏でる新たな神戸実現プロジェクト

## 背景

神戸には**都心部に近接した海や山など豊かな資源**があり、1868年の開港以降、いち早く外国文化を取り入れ、発展してきた**多彩な芸術文化**があります。

また、心豊かな生活が享受でき、将来世代に継承できる**持続可能な社会**を築くとともに、withコロナの時代における**新たな価値やスタイルに対応した変化**が求められています。

## 現状の課題

SDGs・ESGを意識した取り組み

「with コロナ時代」への対応

関係人口の創出・拡大

## 事業の目的

社会的ニーズに応える  
神戸ならではの施策を実現！

例えば...

都心部に近接した海や山など豊かな資源  
×  
感染症の流行による自然環境へのニーズ

## これまでの取組

### ふるさと神戸ダブル応援基金

神戸の観光を支える人や宿を応援

神戸ビーフや神戸の農水産物の生産者を応援

文化芸術・エンタメを応援

飲食店や商店街を応援

経済的に困っている人たちを支援

お年寄りや介護従事者を守り支援

子どもたちの学びや育ちを応援

神戸のスポーツを応援

# 神戸市・人と自然が奏でる新たな神戸実現プロジェクト

## 事業内容

例えば...

### 六甲山の活性化

ローカル5G整備、保養所のオフィス転用改修、森林の保護・整備、レクリエーション振興 など

### 自然と環境を守る再生可能エネルギーの推進

水素関連製品の研究・開発、バイオマス発電 など

### 農村・里山の自然環境・文化の保全

行事や民俗芸能等の伝統文化の保存・活用、ファームズマーケットの拡大耕作放棄地を活用した市民農園設置、里づくり支援事業、農村歌舞伎舞台をはじめとする「神戸歴史遺産」の保全 など

### 子どもの教育・子育て支援

こども本の森、食のセーフティネット支援、民間シェルター運営支援、子どもの補習教室の開設、英語教育の充実 など



神戸らしい施策の推進！！

## 得られる成果等

### 企業に求めるもの

神戸市が実施するプロジェクトを応援してください（ご寄附・アイデア）

専門的知識・ノウハウを有する人材の派遣をお願いいたします

# 【熊本地震復興】南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発プロジェクト

## 背景

地域唯一の鉄道公共交通機関「南阿蘇鉄道」。平成28年(2016年)4月に発生した熊本地震により甚大な被害が生じ、現在もなお、部分運行を強いられ、全線復旧までには2年以上を要します。



## 現状の課題

平成28年(2016年)熊本地震の影響による地域観光産業の落ち込み

(観光客数) ※年平均

熊本地震以前:約84万人 → 熊本地震以降約60万人(地震前平均比△29%)

(南阿蘇鉄道利用者数) ※年利用者数

(震災前年)約25.7万人 → 令和元年約5.6万人(地震前比△78%)

## 事業の目的

南阿蘇鉄道の熊本地震からの「創造的復興」を“Build Back Better”として推進！  
→始発・終点駅「高森駅」周辺を地域観光の「玄関口」として再整備します



【新高森駅整備イメージ】

## これまでの取組

「くまもとアートポリスプロジェクト」により、全国からプロポーザル方式で応募があった39点の提案の中から「南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発グランドデザイン」を作成(設計完了)



公開で開催した提案審査会

# 【熊本地震復興】南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発プロジェクト

事業  
内容

## 南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発整備事業

- ①新高森駅舎の整備
- ②とにかかく広いプラットフォームの整備
- ③快適な居場所となる交流施設の整備



得られる  
成果等

## 成果・目標

【南阿蘇鉄道沿線地域  
公共交通網形成計画より】

- 高森町への入込観光客数  
100万人以上（R5）
- 南阿蘇鉄道年間輸送人員数  
7万5千人以上（R5）
- JR豊肥線へ南阿蘇鉄道運航列車の  
乗り入れ実現（R5）

## 企業様に求めるもの等

- 熊本地震からの復興のシンボルへ位置付けされる当事業への財政的支援
- 過疎地域における新たな公共交通施策等の体系整備の協働
- 住民・事業者・行政・企業が連携した地域公共交通の利用促進と需要創出における連携

## 最後に

近年全国各地で、自然災害による致命的な鉄道被害が生じ、地域住民の死活問題となっています。全国に先駆け、官民の資金協働により、公共交通機関の復興による地域づくりにご支援をよろしくお願い申し上げます。

Bブロック  
子育て支援、人材育成、  
移住・定住促進支援

6,	北海道 南幌町
7,	北海道 増毛町
8,	北海道 猿払村
9,	群馬県 下仁田町
10,	長野県 飯田市
11,	三重県
12,	兵庫県 姫路市
13,	岡山県 赤磐市
14,	熊本県 八代市
15,	熊本県 天草市

# なんぽろ暮らしデザインプロジェクト

## 背景

### 【異質な人口構造】

- ・ 高齢化率 2020年：34.0% ⇒ 2040年：63.4%
- ・ 北海道内で高齢化スピード予測 第1位

## 現状の課題

### 【知名度向上、市街地への誘客】

- ・ 札幌近郊にありながらも知名度が低い
- ・ 市街地への誘客を図るためのコンテンツがない
- ・ 子育て環境の充実



## 事業の目的

### 【子育て環境と暮らしの環境を充実させ、子育て世代の誘客を図る】

- ・ 子どもの遊戯施設を中心とした交流拠点施設の整備
- ・ 施設と都市公園を連動させエリアの活性化を図るエリアマネジメントの推進

## これまでの取組

- ・ 公民連携（PPP）手法により事業者決定  
※DBO+エリアマネジメント
- ・ 2022年5月開業を目指した事業計画
- ・ シンポジウム開催（約100名の参加）
- ・ 公民連携事業 きた住まいるヴィレッジの展開



# なんぽろ暮らしデザインプロジェクト

## 事業 内容

- ・「30年後も子ども達という風景」を目指す
- ・子どもの室内遊戯施設を中心とした交流拠点施設の整備
- ・エリアの賑わい創りと活性化、人材育成、コミュニティの醸成のための**エリアマネジメント**に取り組む



住民とともに考え実践する

**「なんぽろらしい暮らしのデザイン」**



施設の外観イメージ

## 得られる 成果等

### 【成果・目標】

- ・子育て環境の充実
- ・地域活動の活性化に伴う人材育成
- ・シビックプライドの醸成
- ・知名度の向上
- ・市街地への誘客

南幌町の豊かな暮らしを共有  
**脆弱な人口構造の是正**

### 【企業に求めるもの等】

- ・施設整備・運営の財源、エリアマネジメントに取り組む活動資金の支援
- ・まちづくりについて共に考え実践するパートナー、プレーヤー

### 【企業のメリット】

- ・持続可能なまちづくり、子育て環境の充実を目指すパートナーとしてのPR



# 増毛町・高血圧ゼロのまちプロジェクト

## 背景

人口：60年で4分の1に減少 [昭31:17,275人 平27:4,497人]

担い手：高齢者、外国人技能実習生が増加

仕事：果樹・漁業等、季節的に人手が必要、**定年がない**

歳を重ねても働き続けられる

**生涯活躍のまち**



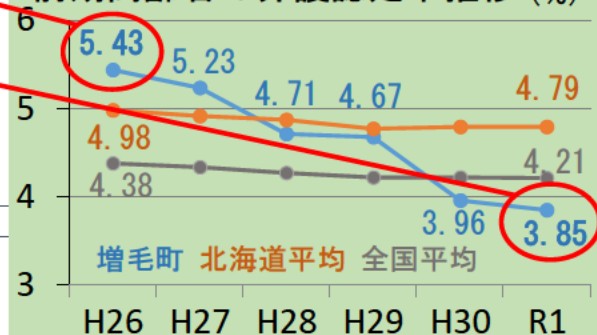
## 現状の課題

高血圧が要因となる脳・心臓・腎臓の病気で、75歳前に要介護状態になる町民が多かった。

↓  
高血圧対策により前期高齢者の要介護認定率が減少

↓  
**高血圧対策を多くの町民に広げることが課題**

前期高齢者の介護認定率推移 (%)



## 事業の目的

健診、血圧測定、運動、減塩の習慣化、服薬等の指導

多くの住民に広げる

重病を予防

健康寿命の延伸

- 目的
- ①生涯活躍（高齢者の就労促進と収入増加）
  - ②社会保障の維持（医療費、介護費適正化）

## これまでの取組

高血圧対策事業（国保加入者）

[健診の推進] [結果を出す保健指導] [服薬指導]

健康寿命延伸人材育成事業

[運動指導者の配置、育成] [運動施設の充実]

増毛醤油事業（減塩推進事業）

[オリジナル減塩醤油の開発] [減塩の普及]







# 増毛町・高血圧ゼロのまちプロジェクト

事業  
内容

**血圧測定**  
血圧計の整備・貸付・遠隔での結果把握

**運動・減量**  
運動施設・設備の維持管理・指導者育成

**減塩**  
減塩増毛醤油をシンボルとした減塩推進

**服薬指導**  
早めの通院、服薬の指導で重症化を予防

**分析評価**  
高血圧学会・旭川医大の助言を受け分析

多くの町民への取組拡大

得られる  
成果等

**【成果・目標】**  
高血圧ゼロのまちプロジェクトKPI

(数値の単位%)	基準値 H30	実績 R元	目標値 R6
高血圧割合 (国保)	9.9	9.2	8.0
要介護認定率 (前期)	3.96	3.85	3.00
給与収入者率 (前期)	52.4	57.7	60.0

給与収入者割合 (%)

Year	町民全体 (%)	前期高齢者 (%)
H27	55.1	49.8
H28	56.5	53.8
H29	58.4	53.7
H30	57.8	52.4
R1	59.2	57.7

高齢者就労増  
↓  
健康寿命延伸  
必須

8 働きがいも 経済成長も

**【企業に求めるもの等】**

- 企業版ふるさと納税での**事業資金**
- 事業拡大**アイディア**、協働提案  
**町民参加の誘因アイディア**

**【企業のメリット】**

- 小規模自治体のため、事業展開が**スピーディー**
- 既に一定の成果が出ている事業の  
拡大実施であり**結果が出やすい**
- 日本高血圧学会「高血圧ゼロのまち」  
**モデルタウン第1号**の事業

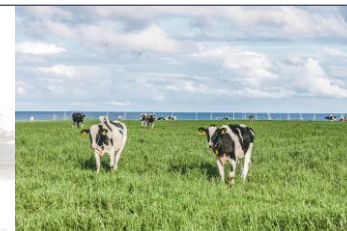
**「健康を大切にする企業」  
イメージアップ**

# 北海道猿払村 新産業創造プロジェクト

## 背景

【漁業と酪農の2大基幹産業を有しながらも】

人口がゆるやかに減少している



## 現状の課題

【就労先の選択肢が少ない】

進学で村を離れた若者が戻らない

移住を希望される方の魅力的な受け皿が少ない



## 事業の目的

【新規就農者・企業誘致を目指して】

施設園芸の猿払モデルを構築する



## これまでの取組

17年 地方版IoT推進ラボに選定(経済産業省)

19年 猿払村IoT推進構想策定



# 北海道猿払村 新産業創造プロジェクト

事業  
内容

- ◆施設園芸調査研究事業  
施設整備、野菜・イチゴ等の栽培
- ◆食と健康のプロジェクト  
村民の健康を食から向上
- ◆既存産業との連携  
新商品開発、エネルギー対策等



- ◆持続可能な  
活力ある村の実現

## 成果・目標

- ◆施設園芸栽培システムの確立
- ◆村民の健康への展開
- ◆村特産品の新商品開発
- ◆企業・新規就農者誘致
- ◆村の保有する資源の利活用

## 企業に求めるもの

- ◆新産業事業化に向けて協働マーケティング、産品開発  
新・省エネルギー対策など

## 企業のメリット

- ◆新たなパートナーシップの構築
- ◆SDGsへの取組みなどのPR効果
- ◆地域資源を活かした新事業の展開

得られる  
成果等

## 背景

人口 7,058人 高齢化率 49%

↳ 人口減少、少子高齢化が進み、地域活性化に苦勞



## 現状の課題

- 若年層が就学や就労などにより町外に転出
- 進学等で町を離れた若者が戻らない

↳ 農林業、食品、建設等地場産業の**担い手不足**

持続可能な活力ある町を  
実現したい

## 事業の目的

若者の町外流出を抑制するとともに、進学等で町外流失した人材のUターン就職につなげ、地場産業における優秀な人材の確保と子育て世代の流入増加を図りたい！

➡ **ねぎとこんにやく下仁田奨学ローン 開発**

## これまでの取組

H28年度 地域金融機関との「包括連携協定書」を締結  
地域金融機関との「奨学金に関する協定書」を締結  
「ねぎとこんにやく下仁田奨学金事業」地域再生計画認定

H29年度 ねぎとこんにやく下仁田奨学金制度運用

R元年度 「企業版ふるさと納税」大臣表彰受賞



事業内容

〈ねぎとこんにやく下仁田奨学金制度〉

ねぎとこんにやく下仁田奨学ローン返済相当額を町が補助！

貸付額：高校生 30,000円/月  
大学生等 50,000円/月

在校生（住所要件なし） ➡ 利息相当額を補助  
卒業生（住所要件あり） ➡ 元利金相当額を補助

補助財源として・・・ねぎとこんにやく下仁田奨学金基金を設置

企業版ふるさと納税・ふるさと納税を活用させていただき  
持続的な制度として運用しています！



<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>17 パートナースhipで目標を達成しよう</p> 
--	---	--

得られる成果等

〈成果・目標〉

- ◆ 地場産業への優秀な人材確保
- ◆ 若者の町外流出を抑制
- ◆ 子育て世代の流入増加

寄付活用事業による町内定着人数（R2～R6）

45人を目指します！

〈実績〉

H29～R元年度卒業生  
29人のうち17人が町内在住

定住率59%

〈企業のメリット〉

- ◆ 企業のイメージ・認知度up
- ◆ SDGsへの取組みなどのPR効果
- ◆ 新たなパートナーシップの構築

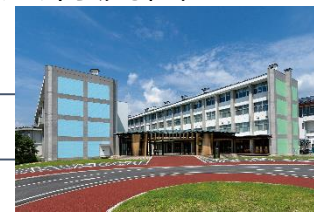
下仁田町の若者を応援して下さる企業を募集しています！

## 背景

- ・ 本地域には4年制の大学が無い。
  - ・ 高校3年生は卒業と同時におよそ7割が他地域へ進学、若しくは就職。
- ⇒外に出た学生の内、飯田に戻ってくるのはそのうち3割程度。

## 現状の課題

魅力のある大学・就職先がないことによる、若者の人材流出



## 事業の目的

- ・ 高度人材（修士生）の輩出と、地域内企業への人材誘導・確保
- ・ 産学連携による研究・技術開発の促進



- ・ 学生の増加
- ・ 地域産業の活性化



## これまでの取組

- ・ 平成29年4月「信州大学航空機システム共同研究講座」開講  
【学問領域が国内で唯一】
- ・ 平成31年1月「エス・バード」オープン  
【航空機の環境試験機器が国内で唯一】

事業  
内容

- ・信州大学航空機システム共同研究講座コンソーシアムの支援
- ・ランドスケープ・プランニングの開講
- ・信州大学南信州キャンパスの実現



ここにしかない学問領域！  
グローバル人材を飯田から輩出！！

得られる  
成果等

## 成果・目標

- ・地域内に若者を呼び込む
- ・継続して航空機産業の集積化の促進する。
- ・航空機産業から派生する、次世代モバイルへの開発の貢献



- ・持続可能な地域づくり
- ・新リニア時代を見据えた産業づくり

## 企業に求めるもの

- ・新分野へチャレンジする若者への支援
- ・専門知識を持つ先生の紹介と次世代産業への研究開発テーマの提供
- ・飯田市への進出

## 企業のメリット

- ・国へのPRによる企業ブランドの向上

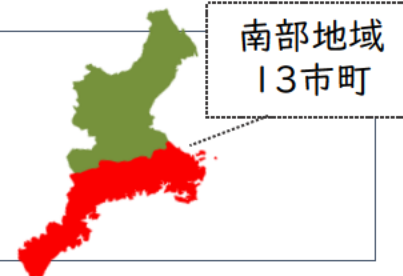
# 三重県 度会県（わたらいけん）プロジェクト

## 背景

### 【三重県 南部地域】

地理的、経済的条件が不利

- 若者世代の人口流出、過疎高齢化の進行
- ・ 地域の活力低下



## 現状の課題

- ・ 若者世代が一度地域を離れるとつながりを失い、関心が低下
- ・ 人口減少と高齢化で地域の活動に制約、さらなる活力低下

## 事業の目的

明治時代に実在した「度会県」をバーチャル上で復活！  
度会県民を募集！

- 地域を想う度会県民の様々な関わりで南部地域を元気に！



県民数  
1,300人  
以上

## これまでの取組

- ・ 度会県民参加型プロジェクト
- ・ 県民の集い
- 度会県民と南部地域との交流を実現、地域を応援



地域の祭りを応援！

東京・大阪で交流！





# 三重県 度会県（わたらいけん）プロジェクト

## 事業内容

- ・今年度、コロナ禍により度会県民が集まって交流することが困難に



度会県オンライン  
サロンを開始！

南部地域で活躍するゲストが熱く語る！



「漁村の未来」「空き家の活用」など多彩なテーマを用意！

## 得られる成果等

### 成果・目標

- ・同じ思いを持った県民同士の交流
- ・地域の課題を知り、自分のできることを模索

SNSを通じ地域とのつながりを継続



度会県民が主体的に地域を応援！

### 企業に求めるもの

- ・度会県の情報発信（県民随時募集中！）
- ・スキルや発想力のある社内人材による地域の応援

### 企業のメリット

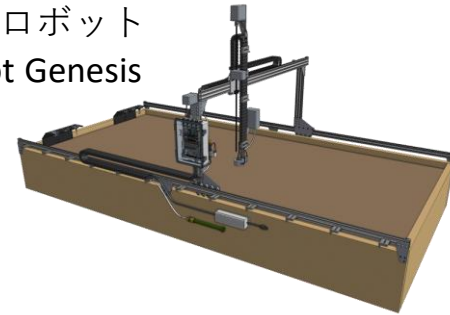
- ・地方での副業やワーケーション推進の契機
- ・新たな事業展開のヒント
- ・社員のバイタリティ向上

# 姫路市・スマート市民農園事業

## 背景

- ・ 農業従事者の高齢化
- ・ 耕作放棄地の拡大
- ・ 世界的な農業DXの進行

農業用ロボット  
Farmbot Genesis



水やり機能

## 現状の課題

- ・ 農業分野におけるICTに長けた人材の不足
- ・ 令和2年度からプログラミング教育が必修化されたが農業分野に向かうものがない
- ・ 農業分野のICTに対する若年層の関心喚起



植え機能

## 事業の目的

- ・ **農業分野におけるICT人材の育成**



カメラ機能



ソーラーでオフグリッド化

## これまでの取組

- 事業の1年目 (各事業の研究・開発・準備)
- ・ 書写養護学校(中高生)との協議に着手
  - ・ 農業版STEAM教育用カリキュラム作成に着手
  - ・ 近畿大学農学部へ研究委託
  - ・ 東京大学大学院新領域創生科学研究科との情報交換



- ・ PCから遠隔操作可能
- ・ ハード&OS共オープンソース

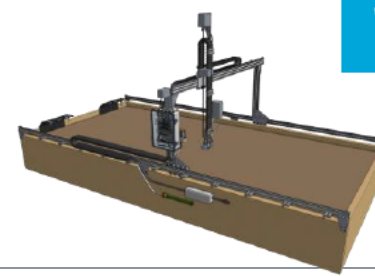
# 姫路市・スマート市民農園事業

## 事業内容

- ・スマート市民農園事業
- ・アグリテック甲子園事業
- ・**農業版STEAM教育**事業

事業期間 令和2年～令和6年  
事業費 1億3千万円（5年間）

## アグリテック の担い手育成



農業用ロボット  
Farmbot Genesis

## 成果・目標

### ・農業分野のICT人材育成

- ・農業分野のイノベーション創出
- ・重度身体障がい者の**農福連携**

地方創生推進交付金事業「**ハーブの里山プロジェクト**」と連携し、ハーブの収穫のスマート化を目指す。

## 企業に求めるもの

- ・企業版ふるさと納税
- ・アグリテック甲子園開催への支援
- ・農業版STEAM教育事業拡大への支援

## 企業のメリット

- ・農業DXの推進による市場拡大
- ・イノベーション人材とのマッチング
- ・SDGs達成への貢献のPR

## 得られる 成果等

# 岡山県赤磐市 あかいわに戻ろうプロジェクトⅣ



～多様な世代が支え合い活躍できるまち あかいわ～

## 背景

赤磐市は岡山市のベットタウン。昼夜人口の比率が岡山県内の市でも比率が低い！赤磐市には高等学校が有名私立高等学校しかない！



## 現状の課題

市内に住む子どもたちや若者は地域の企業を知る機会、地域の人と関わる機会が少ない。全体的に地域への愛着が低下している。

## 事業の目的

**「母街回帰」・「愛着の醸成」**  
**「多様な世代の活躍」**



## これまでの取組

地域のことを知る取組  
新しい働き方 クラウドソーシング など



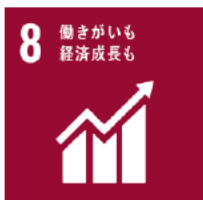
# 岡山県赤磐市 あかいわに戻ろうプロジェクトⅣ

～多様な世代が支え合い活躍できるまち あかいわ～



## 事業内容

- ・中学生と地域の大人、大学生との語り場づくり
- ・高校生に地元企業を知ってもらう取組
- ・新しい働き方（クラウドソーシング）の普及事業
- ・ネットワークづくり
- ・若者まちづくり事業



## 成果・目標

- ・転入者の増加！
- ・新しい働き方、自分らしい働き方をして、収入を得る市民の増加！
- ・ふるさと納税の納税額アップ！

## 企業に求めるもの等

- ・赤磐市が誇るクラウドワーカー女子たちにアウトソーシングを！
- ・赤磐市というまちのことを知って応援してください！桃やブドウの産地なので、その時期に赤磐市を訪れてみてください！
- ・企業をPRさせていただきます。

## 得られる成果等

## 背景

地元の若者が進学、就職で流出!!

⇒ 戻りたいと思っても、自分の経験・知識・スキルを活かせる仕事がない…

※ ハローワーク八代の有効求人倍率(2020年8月 全業種0.99、事務的職業0.52)

※ 求人が多いのは、福祉関連、サービス関連、医療関連、生産工程、ドライバーなど



## 現状の課題

企業誘致の対象業種を変更!!

以前は、主に製造業や運輸業 ⇒ 採用は高卒中心。しかも、すでに立地している企業と人材の取合いに…  
現在は、主にIT関連 ⇒ 大卒の採用も多く、進学で流出した人材が戻って働ける場所になり得る。

しかし!!

求職者が応募しても、採用されない…、ハードルが高くて応募もできない…



## 事業の目的

そこで!! ⇒ 地域人材のITリテラシー向上やスキルアップに取り組もう!!

さらに!! ⇒ 地域や行政、企業のDX化にも取り組もう!!



## これまでの取組

■ プログラミングスクール&コワーキングスペースの運営を行う企業を誘致

⇒ 今年2月からスタート、1期(2ヶ月)のスクール生×3期で約80名を輩出。

■ 10月からは、土日(各4時間)×8週間の市職員向けシビックテック研修を実施中

■ 総務省「関係人口創出・拡大事業」モデル事業にも採択!!

⇒ ICT関連セミナー、都市部の副業人材活用セミナー、やる気のある他都市との交流などを実施中



## 事業内容

- プログラミングスクール及び coworkingスペースの運営等を通して、地域人材のITリテラシー・ITスキルの向上を図る。
- 地域企業の若手経営者が新事業を考え、事業の実施を後押しする「やつしろ未来創造塾」を開催。
- 都市部の副業人材や他都市のやる気ある若手経営者等と連携し、地域でのイノベーションを促進。
- 市職員自らが、ITリテラシー向上に取組み、地域のDX化を後押しする。



## 成果・目標

- プログラミングスクール  
3クール開催/年  
※ 2ヶ月(週5日×3時間)  
修了生60人/年
- 「やつしろ未来創造塾」  
塾生10人/年  
ビジネスプラン実現：3件/年



## 企業に求めるもの

- 新技術導入等に関する共同研究
- 地域人材の採用

## 企業のメリット

- 一緒に研究に取り組んだ人材を採用できる可能性がある。
- 市が全面的にとり、地域の教育機関や住民等との調整に協力。

## 得られる成果等

# 熊本県天草市・マグネットシティ構想事業

## 背景

主要産業は、農林水産業の一次産業及び観光業。  
移住施策は県内トップの実績（年間100人前後）を誇るが、地元定着については、若者世代の転出超過が大きく、地域の過疎化が進んでいる。



## 現状の課題

- ・若者世代の転出超過。
- ・1次産業をはじめ産業全般の後継者不足。
- ・働く場所はあるが、雇用に結びついていない（若者のニーズに合う企業が少ない）
- ・生産地のポテンシャルは高いが、付加価値の付け方、営業力が弱い。
- ・大学がなく高等教育機関が弱い。



## 事業の目的

天草の未来を担う**人材を確保**し、**活気のある持続可能な街**を目指す。



## これまでの取組

- ・雇用の場を維持創出するために、**天草市起業創業・中小企業支援センターAma-biz**を設置。
- ・少量多品種の産品を全国へ発信するため地域商社として**天草宝島物産公社**を設置。
- ・移住定住促進を図るため、**移住定住サポートセンター**を設置。
- ・地元就職足の為、市内において**合同企業就職説明会**を開催（年2回）
- ・起業の促進、地元愛醸成のため、京大と連携し、**天草宝島起業塾（高校生・一般）**を開催。



# 熊本県天草市・マグネットシティ構想事業



## 事業内容

- 1. 天草の就職情報の発信、地元新卒者・若者のUJIターン就職支援**  
市内高校生及び天草出身の大学生や既就職者に対し、地元の就職情報を動画等新たな手法で発信するとともに、市内及び流出人数の多い熊本市で合同就職面談会を開催する届けることで、UIターン就職の促進を図る。
- 2. 若者の働きたい場の創出・スキルアップ環境の整備**  
若者や女性等が、天草にしながらIT等を活用し、働き稼げる環境を整備するため、クラウドワーキング、WEBデザイン、グラフィックデザイン、動画製作、プログラミングスキル等の育成講座を開催。
- 3. 大学・企業と連携した二地域就労による新たなキャンパスモデルの構想**  
京都芸術大学やANA総研を始めとする大学や企業との連携により、地域資源を活かした講座の実施によるシビックプライドの醸成及び事業の実施を行う。
- 4. 若者の移住を促進するため、子育て世代かつ若者視点をもつコーディネーターを配置**

## 得られる成果等

### 成果・目標

- ・若者の地元就職率向上
- ・若者の流出抑制
- ・天草に変化をもたらすクリエイターを育成
- ・地場企業の付加価値、競争力向上



- ・天草の地域間競争力向上
- ・働き手の確保
- ・市民所得の向上  
(目指せ平均所得300万円)
- ・持続可能な街づくり

### 企業に求めるもの等

- ・天草に変化をもたらすアイデア、人材、資金の提供
- ・天草でプレイヤーとして活動。
- ・企業のノウハウと天草の資源や強みの融合、弱みの改善につながる連携。
- ・都市部の情報、技術等を得たい。

### 企業のメリット

- ・実証実験の場の確保
- ・地方を応援している企業というPR
- ・課題先進地「天草」で日本の課題を「先取」

まずは、視察で天草へお越しください。旅費支給（条件有）&アテンドはお任せください！

Cブロック  
文化・芸術・スポーツ支援、  
原材料産地支援

16,	岩手県	陸前高田市
17,	東京都	町田市
18,	新潟県	村上市
19,	富山県	南砺市
20,	長野県	東御市
21,	京都府	京都市
22,	奈良県	曽爾村

# 陸前高田市「レッドカーペット・プロジェクト」

～椿の花が咲く頃に…被災跡地に一面の椿畑を～

## 背景

3.11以降、  
低地部に  
未利用の  
市有地



津波に  
耐えた  
北限の椿  
(市の花)



ビジョン  
としての  
共生のま  
ちづくり



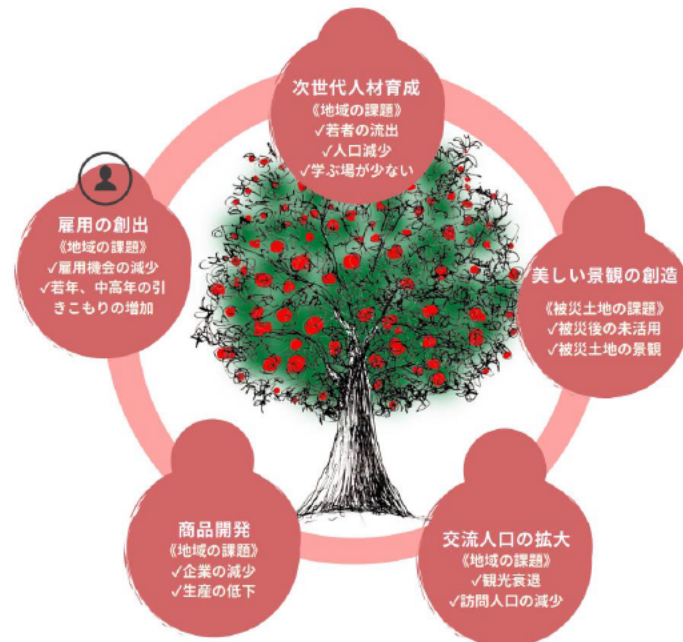
## 現状の課題

- ◇特産品「椿茶」が開発され、一定の評価を得るも...
- ◇自生樹のみで生産農園が無いいため、原材料確保に課題。  
⇒一次加工に関わる障がい者の雇用機会の制約に。



## 事業の目的

被災跡地に椿の生産農園をつくることで、  
「美しい景観の創造」、「交流人口の拡大」  
「椿商品の開発」、「雇用の創出」、  
「次世代人材育成」を実現！



## これまでの取組

地元農業高との育苗連携



(一社)設立・産官連携協定



# 陸前高田市「レッドカーペット・プロジェクト」

～椿の花が咲く頃に…被災跡地に一面の椿畑を～

## 事業内容

- ◇予定地27,000㎡に、約8,000本の苗木を植樹
- ◇椿の葉の一次加工を行う作業場等も整備
- ◇椿茶のみならず、椿油や椿炭を使った様々な商品や集客コンテンツを開発



## 得られる成果等

### 【成果・目標】

- ◇生産農園・作業場整備による、障がい者等の更なる雇用創出！
- ◇美しい景観づくり⇒地域住民・観光客の集客⇒椿関連産業の活性化！

### 【企業に求めるもの】

- ◇椿茶を呈茶として活用
- ◇植樹活動に参加
- ◇企業版ふるさと納税等による寄附



# 東京都町田市・芹ヶ谷公園芸術の杜プロジェクト

## 背景

- ・生産年齢人口が減り始めている
- ・町田市立博物館の施設老朽化による展示終了
- ・多摩都市モノレールの延伸事業



## 現状の課題

- ・中心市街地の賑わいの低下
- ・公園の魅力を十分に活かしていない
- ・子育て世代に選ばれるまち

## 事業の目的

- ・公園と美術館の一体的な整備
- ・コンセプトは「パークミュージアム」
- ・中心市街地に新たな賑わいの創出



## これまでの取組

- ・ひらかれたプロセス～公園活用アイデアの抽出イベント
- ・市民参加型プロジェクト **Made in Serigaya** (メイドイン芹ヶ谷)
- ・公園、美術館の基本設計



# 東京都町田市・芹ヶ谷公園芸術の杜プロジェクト

## 事業 内容

- ・公園と美術館の一体的な整備
  - ・ 芹ヶ谷公園
  - ・ (仮称) 国際工芸美術館
- ・ 一体的な管理運営



## 得られる 成果等

### 成果・目標

- ・ 市民主体の公園活用
- ・ 市民の文化芸術にふれる機会の増加
- ・ 公園の来園者増加



- ・ 中心市街地活性化
- ・ えらばれるまち

### 企業に求めるもの

- ・ 公園活用プログラム
- ・ 整備財源の支援

### 企業のメリット

- ・ 公園での実証実験
- ・ 商圏人口200万人を活かした新たな展開

# 新潟県村上市・スケートボードの聖地「むらかみ」プロジェクト



## 背景

- ・市遊休施設を利用した日本海スケートパークがあり、スケートボード選手育成の地盤があった
- ・スケートボードが2020東京オリンピック・パラリンピックの正式種目に選定



## 現状の課題

- ・村上市スケートパーク（2019完成 国内最大規模の屋内施設）のさらなる活用
- ・人口減少や若者の流出による地域活力の低下



## 事業の目的

- ・子どもや若者 → プロスポーツやトップアスリートへの **夢の応援**
- ・スケートボードの聖地 → スケートボードを活かした地域経済の振興と地域の活性化



## これまでの取組

- ・2019 年間利用者20,680人 国内選手権大会1回、他大会1回、合宿2ヶ国、教室40回
- ・2020 コロナ禍により大会未実施、教室10回、修学旅行受入れ3校



# 新潟県村上市・スケートボードの聖地「むらかみ」プロジェクト

## 事業内容

事業費 12,000千円/年

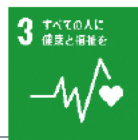
- ・普及事業  
→初心者教室、アスリート育成教室、イベント
- ・大会開催  
→市主催、国内大会
- ・合宿、キャンプ誘致  
→トップアスリート国内外チーム、瀬波温泉の活用



▼大韓民国ナショナルチーム合宿



▼日本選手権屋外PV



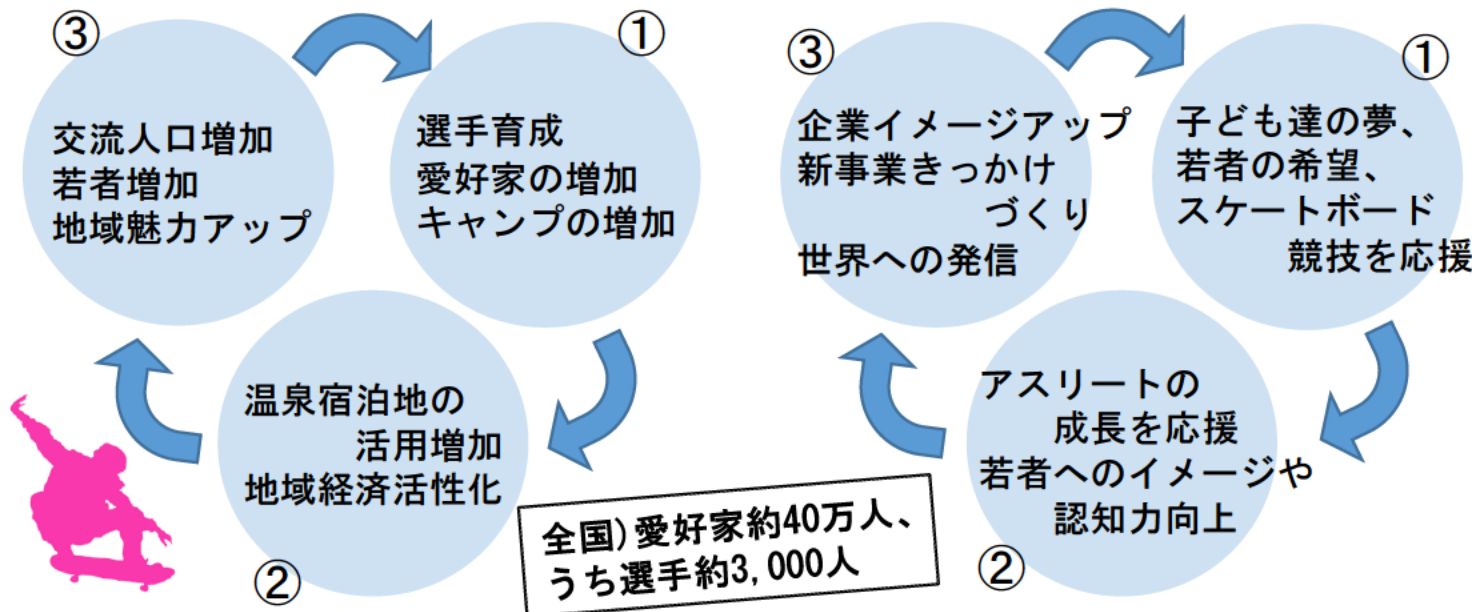
## 村上市

## 応援企業

## 得られる成果等



村上市関連HP







## 背景

## 世界遺産「五箇山の合掌造り集落」

1995 (H7) 年12月、南砺市の2つの合掌造り集落  
が、岐阜県「白川郷」とともにユネスコ世界遺産  
に登録。(国内で6番目)



菅沼集落



相倉集落

現状と  
課題

- **急激な人口減少** ～周辺地域は、20年間で4割減 (H7年2,636人⇒H27年1,619人)～  
⇒ コミュニティ機能の低下 ⇒ 世界遺産維持の危機
- **屋根材「コガヤ」の供給不足** ～山間傾斜地にある「茅場 (=栽培地)」の荒廃～  
⇒ コガヤの生産に「新しい力」の参画が必要。
- **観光客への対応** ～外国人観光客の増加～  
⇒ ガイド活動 (=おもてなし) の多言語化。

事業の  
目的

世界遺産「合掌造り集落」を、人類共有の財産として未来につないでいくために...

- ① 子どもの声が響き、安心して住み続けられる集落づくり。
- ② 屋根材を自給し、持続可能な集落づくり。
- ③ 『懐かしくて、新しい』価値観を、世界に発信。



事業内容

## ①茅場の造成 (R2年度 : 229万円)

合掌造りを守り続けるため、屋根材「コガヤ」を栽培し自給率100%をめざします。



## ②ICTを活用した遠隔協働学習の推進 (R2年度 : 961万円)

山間集落の若者たちの子育て・教育への不安を解消するため、ICTを活用して「質の高い教育」を山間地の子ども達に届けることで、Uターン・移住を促進し、世界遺産を守る未来人材を育成します。



## ③AIによる外国人観光客受入環境の充実 (R2年度 : 267万円)

コロナ終息後のV字回復をめざし、AIを活用した観光情報サイトを導入して外国人観光客の受入体制を充実し、満足度向上をめざします。



成果

① 合掌造り家屋の維持・保全

目標

② 安心して子育てし、住み続けられる集落

③ 観光客受入れ体制の充実

⇒ 持続可能で、誰からも愛される世界遺産へ

得られる効果

企業様へのお願い

- ・世界遺産を未来につなぐための取組に支援を！
- ・CSR広報を通じて、「五箇山の合掌造り集落」のPRを！
- ・世界遺産の保存活動を通じて、社内外にSDGsの啓発を！



「世界遺産の保存に貢献する企業」様の取組を、南砺市は広くPRさせていただきます。

# 東御市 東御市まち・ひと・しごと創生推進事業

## 背景

人口減少や少子高齢化が進むなか、日本で唯一の高地トレーニング用屋内プール施設等を設備することにより、当市を訪れることのなかったアスリート等を、新たに呼び込み地域の活性化に繋げる。



## 現状の課題

難読市ナンバーワンを冠する、人口3万人の「ほどよく田舎」であっても、健全で持続可能な運営を行う為、企業版ふるさと納税や個人版ふるさと納税等の寄附金や広告宣伝費等の収入により、年額約1.8億円程度を確保する必要がある。

## 事業の目的

高地トレーニング施設の整備及び運営



- ・アスリート等の流入  
⇒関係人口の創出  
⇒雇用の創出  
⇒知名度の向上

①

## これまでの取組

- ①日本水泳連盟、障がい者水泳協会等の強化合宿
- ②海外からの視察
- ③ジュニア育成



# 東御市 東御市まち・ひと・しごと創生推進事業



事業  
内容

- ・高地トレーニング施設運営
- 
- 湯の丸高原を  
”交流の入り口”とし  
ひとの流れをつくる



得られる  
成果等

- 成果・目標
- ・地域外の人を呼び込む
- 
- ・交流人口の増加
- ↓
- 将来にわたって活力ある  
地域社会の実現

- 企業に求めるもの
- ・業界団体へのPR
  - ・人材等の派遣
- 企業のメリット
- ・地域の活性化やアスリートの育成に貢献する
  - ・企業の知名度向上などPR効果がある

A screenshot of a website showing a list of participating companies. The header includes 'GMOアスリートついで運動の丸' and '高野町企業顕彰者顕彰名'. The list contains various company names and their types, such as '株式会社 高野町' and '株式会社 高野町'.

## 背景

- ・世界に誇る歴史都市，文化芸術都市，大学のまち・学生のまち等，多様で奥深い都市特性
- ・市域の4分の3を豊かな森林が占めている。



## 現状の課題

- ・文化，景観の保全・継承には多額の費用が必要
- ・自然と調和している一方，過疎地域，限界集落を抱え人口は減少傾向

## 事業の目的

- ・人の「数」の追求だけでなく，一人一人が笑顔で安心して暮らせる社会の追求
- ・国内外から訪れる「交流人口」を重視 など  
⇒地方創生・京都モデル＝「京都創生」を目指す。



## これまでの取組

- 日本の伝統・文化を基軸としたまちづくり
- ・文化庁の京都への全面的な移転の推進
  - ・「伝統産業の日」の全国拡大，法制化
  - ・京都遺産制度の推進 など

事業  
内容

- ・京都市立芸術大学の移転整備
  - ・世界遺産二条城の本格修理
  - ・三条大橋の補修・修景
- など



「世界の文化首都・京都」を実現！

世界遺産二条城  
二の丸御殿の本格修理



得られる  
成果等

成果・目標

- ・世界に羽ばたく芸術家の育成
- ・世界遺産や景観の保全



三条大橋の補修

- ・日本のこころの創生
- ・国内外からの交流人口の増加
- ・持続可能なまちの実現
- ・日本の文化を1000年先まで

企業に求めるもの

- ・文化芸術振興への支援
- ・文化芸術の継承に向けた協働

企業のメリット

- ・未来の芸術家との連携
- ・世界遺産二条城の活用
- ・社会貢献企業として世界にPR

京都芸大は京都駅前へ



## 背景

絶景に息をのむ茅場「曾爾高原」や漆文化発祥とされる土地柄を有する村だが、人口減少が進む中、固有の伝統文化や農林業が衰退しつつある。



## 現状の課題

- ・ 曾爾高原はススキ（茅）の植生が悪化しているが、改善のための知見・ノウハウ・人材が不足
- ・ 漆の植栽・育林を進めていくためのノウハウ・人材が不足



## 事業の目的

「曾爾高原復活プロジェクト」 ➡ 茅と漆のある原風景を村に取り戻す  
 「山と漆プロジェクト」 ➡ 日本の伝統文化を守り継ぐ・担い手を育てる

## これまでの取組

- ・ 曾爾高原の伝統行事の維持、植生復活のための試験実施
- ・ 漆の森の再生に向けた植樹・育林・関係人口の形成
- ・ 知恵・ノウハウを蓄積し、持続可能な仕組みを構築模索



事業  
内容

「曾爾高原復活プロジェクト」  
「山と漆プロジェクト」

➡ 日本の原風景と技を次世代につなぐ  
森づくり・場づくり・人づくり



得られる  
成果等

## 《成果・目標》

- 漆・茅の供給産地の形成
- 曾爾村の漆で奈良県の国宝・重要文化財を修復、茅で重要建造物の屋根を修復するサイクルを構築
- 漆・茅葺きに関係する職人・社会起業人材育成拠点の形成

- ↓
- ・村に共感する関係人口コミュニティの創出
  - ・健康で持続可能な暮らしをデザインする村へ

## 《企業に求めるもの》

- ・森づくりのノウハウ（植生・育林・保全）
- ・価値づけのノウハウ（利活用研究・商品開発・発信）
- ・関係者のプラットフォーム化

## 《企業のメリット》

- ・ノウハウ活用による自社PR
- ・社会課題解決による人材育成

